

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：環境経営	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：9：00～10：30	
司会者名（所属）：松橋 啓介（国立環境研究所）	
討 議 内 容	セッション全体：
	<p>（136）前田慎一（高知工科大学）： 意識調査はアンケートからデータをとったのか？：5段階で。間作の有無は0か1で。 単作でさとうきびに影響はないか？：少し減る。短いさとうきびでの組合せでは増える。2度とれる。 機械？：タイミングが違うので、使える。 この対策なのはなぜか？ システムの整合性は？：先行研究でカボチャ。国内冬期に作れる。NZ、AUS の代替。空港、島ニンジン、空の駅、さんご礁保護。</p>
	<p>（137）柴原尚希（名古屋大学）： LRT に2つのパターン、車代替とバス代替：地域が異なる。主目的が異なるだけで、代替は他の こともみている。 バス乗車率が低い。高くできれば逆転できる。新幹線と鉄道の差は？：新幹線は新規のため大きい （山間部を通る）。 4つの結果のグラフの見方は？：削減は平行交通。100%をそろえている。乗車率の感度分析もで きる。 プロジェクトの大小で：長さは変わりうる。 都市内外：分けてみている。ネットワーク効果をみることはできていない。 事例でよいものは？：回収できないものもあるが、一概。</p>
	<p>（138）森本涼子（名古屋大学）： 鉄道でも負荷が異なる 建設ルートの変更。比較はあるか？：研究はある。そういう使い方もでき る。 モビリティマネジメントで事前情報を与える試みはある。車の側で表示できるとよい。：商品につ けた。企業の道路手当につけてもよい。 カーボンフットプリントがミソ。単なる量でも MM はできる。バウンダリをきちんと伝えないと いけない。 乗換案内に出すのは？：お金の支払いに対して、チケットで示したい。バウンダリをきちんとした い。計画段階でやるべき。アセスメント。</p>